

知床ネイチャーキャンパス2023

ステップアッププログラム Part2：ヒグマ管理

オンデマンド配信講義：2023年9月8日（金）～10月20日（金）

ケースメソッド授業：2023年10月21日（土）、22日（日）

現地実習・演習：2023年10月28日（土）～31日（火）

実習フィールド：北海道斜里町の知床世界
遺産地域と周辺地域

演習会場・宿舎：知床第一ホテル

受講生：14名

北海道10名、岩手県2名、茨城県1名、愛知県1名。野生動物管理を学ぶ大学生のほか、環境省職員、自治体職員、地域おこし協力隊、民間会社職員などの参加がありました。

講師紹介（敬称略）



講義・ケースメソッド・現地実習・演習

間野 勉

北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 専門研究員
知床世界自然遺産地域科学委員会委員



ケースメソッド・演習

敷田 麻実

北陸先端科学技術大学院大学教授
知床世界自然遺産地域科学委員会委員
エコツーリズム・地域資源戦略を研究



現地実習・演習

梶 光一

東京農工大学名誉教授
兵庫県森林動物研究センター所長
知床世界自然遺産地域科学委員会委員



現地実習・演習

山本 幸

公益財団法人知床財団 事業部長
羅臼地区・ウトロ地区で普及啓発や公園管理に長く携わる。



現地実習・演習

新庄 康平

公益財団法人知床財団 保護管理事業係主任
野生動物管理の現場業務のほか、調査研究も担当。

※そのほか様々な地元関係者にご指導いただきました。

オンデマンド配信講義（2023.9.8～10.20）

今日のお話し

- 北海道のヒグマと世界のヒグマ
- 人間とヒグマ（歴史を知る）
- ヒグマの生物学（形態、生態、行動など）
- 被害を避けるために（事実から学ぶ）
- ヒグマの保護管理（管理の考え方）

長年知床のヒグマ管理に携わってきた間野勉講師によるオンデマンド配信講義「ヒグマの生態と管理」（90分）を配信しました。

受講生は講義を通じて、北海道や世界のヒグマについての概説から、北海道における人間との関わりの歴史、生態や行動等の生物学、被害事例と科学的管理の考え方に至るまで、ヒグマ管理を考える上での基礎的な知識をしっかりと押さえました。

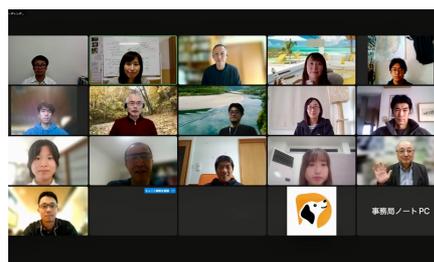
ケースメソッド授業（2023.10.21～22）

チームはつくるもの・・・

グループ → チームビルディング → チーム

グループ	チーム
<ul style="list-style-type: none">• 2人以上の人の集まり• 共通点はない• 目的はなくても良い	<ul style="list-style-type: none">• 2人以上の人の集まり• 参加者間の関係が必要• 目的が必要

37



ケース「ヒグマ対応最前線」



作成：公益財団法人知床自然大学館立財団

当財団で作成したケース教材「ヒグマ対応最前線」を事前に受講生に読んでもらい、3つの問い、①知床のヒグマ管理が抱える課題、②知床での人間とヒグマのあるべき関係、③その実現のために必要だと思うこと、についてそれぞれの意見を準備していただきました。

授業当日はまず敷田講師からアイスブレイキングとディスカッションのルールなどを説明していただきました。その後3つのグループに分かれてそれぞれの問いについてディスカッションを行い、さらに敷田講師のファシリテーションのもと全体ディスカッションを行いました。間野講師には各グループを巡回してディスカッションに加わっていただくとともに、全体ディスカッションで論点の整理をおこなっていただきました。ディスカッションの展開はグループごとに様々でしたが、人間とヒグマの間に適切な距離を保つ必要がある、という認識は各グループで共通していたようでした。ヒグマ管理の現状と現場を取り巻く複雑な状況について明瞭化でき、現地実習で学ぶべきポイントを明確にすることができました。

※ケースメソッドやケース教材については4P参照

現地実習・演習 1 日目 (2023.10.28)

現地実習・演習初日は知床第一ホテルに集合し、短いオリエンテーションのあと、世界遺産地域内のヒグマ対策の現場（知床五湖、知床自然センター）で実際の管理システムや普及啓発について学びました。夕方にはチームごとに振り返りや意見の共有をおこないました。夜には一般公開の知床トークも開催しました。（16P参照）

実習 1 世界遺産地域におけるヒグマ対策 観光との両立

知床五湖

知床の代表的な観光地である知床五湖を訪れ、自然環境の保護と質の高い観光体験、そしてヒグマの生息地での安全な観光を実現しているしくみについて、ガイドツアーへの参加を通じて学びました。

ヒグマとの遭遇を回避する方法や最新の出没状況などを伝えるレクチャーの導入、ヒグマが出没した際のガイドの対応、ヒグマが登ることのできない高架木道のしくみなどについて、実際に体験しながら理解を深めました。



実習 2 世界遺産地域におけるヒグマ対策 普及啓発

知床自然センター

知床自然センターで上映されている、知床での人とヒグマが抱えている課題をテーマとした映像作品「THE LIMIT」を鑑賞した後、知床財団の山本幸講師から、知床で取り組まれている様々な普及啓発についてご紹介いただきました。

知床ウトロ学校で実施しているクマ学習の様子や、マイカー規制を伴った知床サステナブルフェスなどの取り組みをお話いただき、楽しみながらヒグマ対策に協力してもらう工夫などを学びました。



現地実習・演習 2 日目 (2023.10.29)

現地実習・演習 2 日目は、主に市街地や協働によるヒグマ管理を学びました。多くの立場の方が活動する「知床ゴミ拾いプロジェクト」に参加したり、大量出没年となった今年度の状況も学びました。夕方には初日と同じくチームごとに振り返りや意見の共有をおこないました。

実習 3 協働によるヒグマ対策

オクシベツ川河口

ウトロに住んでいる村上晴花さんと藍屏芳さんが実施している「知床ゴミ拾いプロジェクト」に参加し、ヒグマの通り道になっている斜里町朱円・オクシベツ川河口のゴミ拾い活動を実施しました。

当日は受講生だけでなく一般の方々の参加もありました。どのようなゴミにヒグマが関心を持つのか、落ちている様々なゴミを回収しながら考えるとともに、町内外の人々と協働し、楽しくヒグマ対策に取り組むことについての理解を深めました。



実習 4 市街地におけるヒグマ対策 住民との共存

ウトロ市街地

ヒグマ対策で活躍されている知床財団の新庄康平講師にウトロ市街地を案内していただきました。

ウトロ市街地を囲む電気柵やヒグマ対策ゴミステーション「とれんべア」など、市街地への出没を未然に防ぐ試みについて解説いただき、また今年実際にヒグマが出没したポイントを巡り、その時の対応やその後実施した出没防止対策についてお話しいただきました。人間の生活圏でヒグマが出没していることをとてもリアルに感じることができました。



現地実習・演習 2 日目 (2023.10.29)

実習 5 世界遺産地域におけるヒグマ対策 普及啓発

知床世界遺産センター

知床世界遺産センターを訪れ、環境省ウトロ自然保護官事務所の加倉井理佐さんから、環境省によるヒグマ対策や普及啓発の取り組みについてうかがいました。

今年度改訂された国立公園の管理計画において、ヒグマへの「著しい接近」や「つきまとい」について具体的な数値基準が設定されたことなどを学びました。その後は世界遺産センターの展示を見学し、VR機器を用いた普及啓発の取り組みなどを体験しました。



実習 6 協働によるヒグマ対策 村上晴花さん講義

知床世界遺産センター

「知床ゴミ拾いプロジェクト」の代表である村上さんから、ゴミ拾いプロジェクトに加え、北こぶしリゾートのCSV活動としてヒグマ対策をおこなっている「クマ活」、知床に暮らす若い世代が集まって知床の未来を自由に語り合う「シレットコノミライ」などについてお話しいただきました。

いずれの取り組みも地域内外に開かれた活動であり、様々な人々を活動に巻き込むしかけや、活動によって生まれてくる副産物の価値などについて理解を深めました。



現地実習・演習3日目（2023.10.30）

現地実習・演習3日目は、これまでの学びを踏まえた集大成として、各チームに分かれてワークショップを行い、オープンキャンパス（成果発表会）に臨みました。

ワークショップ演習

知床第一ホテル

講義・ケースメソッド・現地実習で学んだことを踏まえ、知床が抱えるヒグマ管理の課題とその解決策を各チームで考えました。冒頭に敷田講師から、様々な意見を持つ人々と提案をつくる際のポイントを教えていただいた上で、受講生は大胆なアイデアを考えると同時に、チームによっては提案を魅力的に伝える動画の作成にもチャレンジしました。間野講師、梶講師、山本講師、新庄講師には各チームのディスカッションをサポートしていただき、受講生の質問に答えたり、アドバイスをいただいたりしました。



オープンキャンパス・交流会

知床第一ホテル

9月から始まったステップアッププログラムの集大成を、地域の方々の前で発表しました。人々の様々な関心に応じてプログラムを組んだヒグマ観察ツアーや、知床の多様な人材を動員した「知床マスター」プログラムの提案など、個性的な提案が発表され、PR動画を披露したチームもありました。

オープンキャンパス終了後の交流会では、地域の方々と交流を深めるとともに、互いの連絡先を交換するなど、今後につながるネットワークを作ることができました。

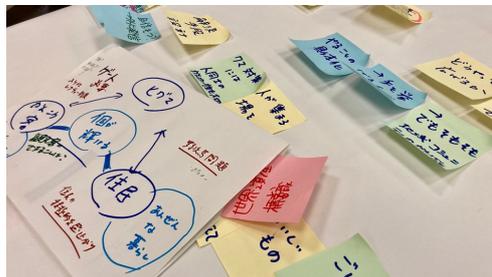


現地実習・演習4日目（2023.10.31）

修了式

知床第一ホテル

最終日の朝、簡単な修了式を行い、受講生の皆さんに修了証を手渡しました。これで全プログラムが終了し、解散となりました。



一般公開プログラム・知床トーク（2023.10.28）

日時：2023.10.28（土）19:30～20:40

場所：知床第一ホテル 大会議室

講師：梶 光一

（東京農工大学名誉教授・兵庫県森林動物研究センター所長）

参加者：41名

タイトル：「野生動物と私たち

～つきあひ方の過去・現在・未来～」

ステップアッププログラムの一部として、受講生だけでなく一般の方々も対象に、4年ぶりの知床トークを開催しました。講師は当財団理事である梶光一氏に務めていただき、ホモ・サピエンスが地球上に現れて以降、日本や世界各国で人類は今日に至るまで野生動物とどのように付き合ってきたのか、そしてそれを踏まえて今後どのように私たちは野生動物と付き合いがいけば良いのかについて、非常に広範な時間的・空間的スケールで、かつポイントを整理してお話ししていただきました。

満員となった会場からは、ヒグマが市街地に大量出没した今年の知床の状況についての意見を含め、多くの質問や意見が多く寄せられました。これに対し梶講師から「環境収容力」に基いた共存のあり方が提示されるなど、スピーカーと会場との意見交換を通じて、野生動物と共存する未来について各々が理解を深めることができました。



現地実習・演習プログラム

	開始時間	時間	終了時間	内容	場所
10月28日 (土) 1日目	8:00	0:30	8:30	受付	知床第一ホテル
	8:30	0:15	8:45	主催者あいさつ・プログラムの趣旨説明	知床第一ホテル
	8:45	0:20	9:05	チームビルディング	知床第一ホテル
	9:05	0:35	9:40	準備・移動（第一ホテル～知床五湖） この後の流れ説明（車内で）	
	9:40	3:00	12:40	実習① 世界遺産地域におけるヒグマ対策① 観光との両立（知床五湖）	知床五湖
	12:40	0:10	12:50	移動（知床五湖～岩尾別川）	
	12:50	0:15	13:05	実習① 世界遺産地域におけるヒグマ対策① 観光との両立（岩尾別川）	岩尾別川
	13:05	0:10	13:15	移動（岩尾別川～知床自然センター）	
	13:15	0:45	14:00	昼食・休憩（+自然センター内・周辺見学）	知床自然センター
	14:00	2:00	16:00	実習② 世界遺産地域におけるヒグマ対策② 普及啓発	知床自然センター
	16:00	0:15	16:15	移動（自然センター～第一ホテル）	
	16:15	1:00	17:15	チーム内での軽めの意見共有・適宜交流	知床第一ホテル
	17:15	0:45	18:00	チェックイン	知床第一ホテル
18:00	1:30	19:30	夕食	知床第一ホテル	
19:30	1:10	20:40	知床トーク	知床第一ホテル	
10月29日 (日) 2日目	7:00	1:40	8:40	朝食・準備	知床第一ホテル
	8:40	0:20	9:00	集合・移動（第一ホテル～道の駅）	
	9:00	2:30	11:30	実習③ 協働によるヒグマ対策 ゴミ拾いプロジェクト参加	ウトロ市街地
	11:30	1:30	13:00	昼食・休憩（+市街地散策）	ウトロ市街地
	13:00	2:00	15:00	実習④ 市街地におけるヒグマ対策 住民との共存	ウトロ市街地
	15:00	1:00	16:00	実習⑤ 世界遺産地域におけるヒグマ対策③ 普及啓発②	世界遺産センター
	16:00	0:50	16:50	実習⑥ 協働によるヒグマ対策② 村上晴花さん講義	世界遺産センター
	16:50	0:10	17:00	移動（世界遺産センター～第一ホテル）	
	17:00	1:00	18:00	チーム内での意見共有 翌日のワークショップに向けた整理	知床第一ホテル
	18:00	2:00	20:00	夕食	知床第一ホテル
10月30日 (月) 3日目	7:00	9:00	2:00	朝食・準備	知床第一ホテル
	9:00	18:00	9:00	ワークショップ演習（チームごとに昼食）	知床第一ホテル
	18:00	19:00	1:00	夕食	知床第一ホテル
	19:00	20:30	1:30	オープンキャンパス	知床第一ホテル
	20:30	22:00	1:30	交流会	知床第一ホテル
10月31日(火) 4日目	8:15	0:30	8:45	修了式	知床第一ホテル

Photo gallery

